

玄海原子力発電所における地震動の評価結果

標準応答スペクトルを用いて新たに策定した地震動は、現行の基準地震動 (Ss-1～Ss-5) を下回ることを確認しました。

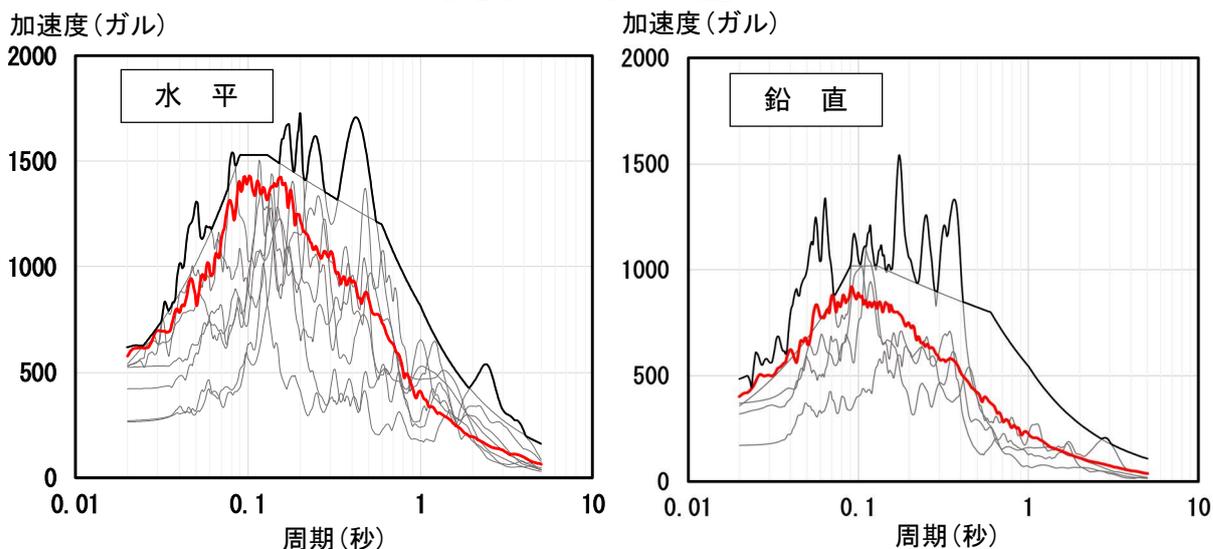
このため、基準地震動の変更は不要であることを説明する文書を原子力規制委員会に提出しました。

【地震動の最大加速度】

地震動		最大加速度(ガル)	
		水平方向	鉛直方向
震源を特定して策定する地震動	基準地震動 Ss-1	540	360
	基準地震動 Ss-2	268	172
	基準地震動 Ss-3	524	372
震源を特定せず策定する地震動	基準地震動 Ss-4 (留萌支庁南部地震)	<u>620</u>	320
	基準地震動 Ss-5 (鳥取県西部地震)	531	<u>485</u>
標準応答スペクトルを用いた地震動		577	403

下線部：Ss-1～Ss-5 の最大値

【地震動の応答特性】



—: 基準地震動 Ss-1～Ss-5
 —: 基準地震動 Ss-1～Ss-5 の最大
 —: 標準応答スペクトルを用いた地震動

以上